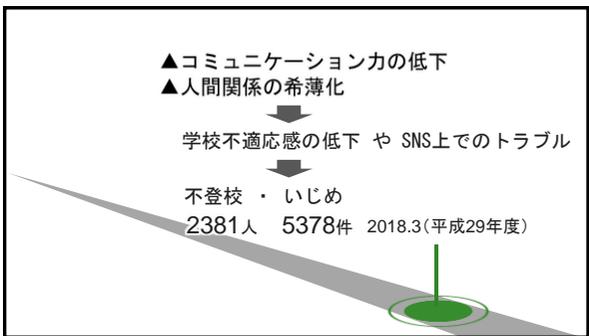
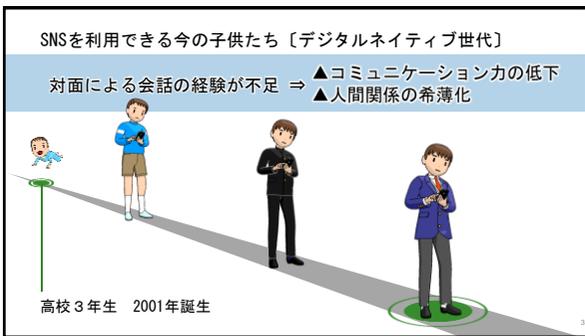
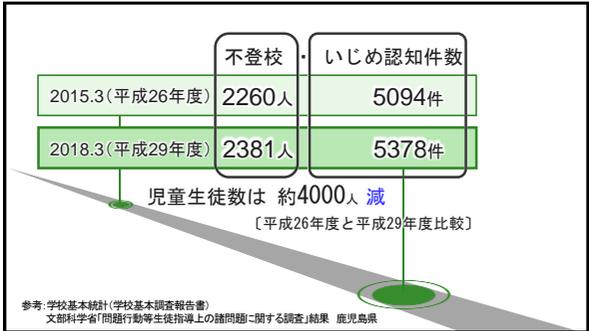


教育相談課 調査研究主題
 児童生徒の豊かな人間関係づくりに関する研究



教育相談課 調査研究

H27～H28

児童生徒の豊かな人間関係づくりに関する研究
 - SNSの利用による友人関係への影響に着目して -

Research Report

鹿児島県総合教育センター
 教育相談課

SNS を利用しない児童生徒

SNS を利用する児童生徒

■ 学校適応感の比較 ■ SNS利用時の心理状態

- SNSの影響を踏まえた「豊かな人間関係づくり」の視点
- 検証改善サイクル (R-PDCAサイクル) の年間計画
- 構成的グループエンカウンターの有効性

教育相談課 調査研究 

H29～H30

児童生徒の豊かな人間関係づくりに関する研究
 - 「学校楽しいと」・「SNSチェックシート」等のアセスメントを通して-

 Research Report

鹿児島県総合教育センター
教育相談課

Research Report

ソーシャルスキル

相手のことを考えて話す自信がない (配慮できない)
 自分の思いや考えを伝えられない (主張できない)



ソーシャルスキル

- 「ソーシャル」とは、対人的なこと、人間関係に関すること
- 「スキル」は、知識や経験に裏打ちされた技術のこと



研究Ⅱの「ソーシャルスキル」の定義

「豊かな人間関係を円滑に築いて維持できるためのスキル」

- 相手の状況を理解し気配りをする「配慮スキル」
- 自らのことを正しく伝える「主張スキル」

ソーシャルスキル

相手のことを考えて話すことができる **「配慮スキル」** ↑

自分の思いや考えを伝えることができる **「主張スキル」** ↑

学校適応感
SNSの利用が良好

(不登校・いじめの未然防止)



教育相談課 調査研究 実態調査 

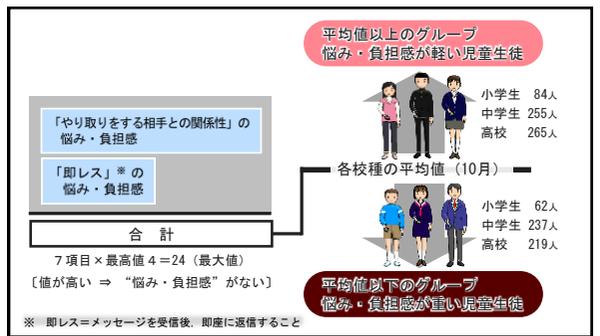
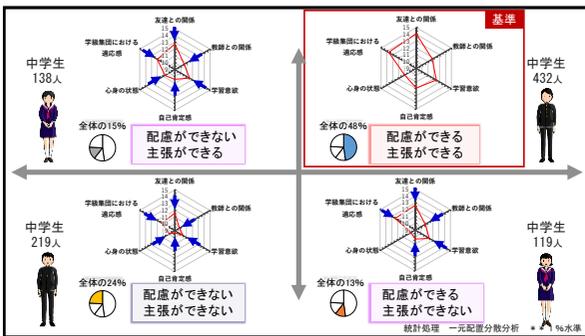
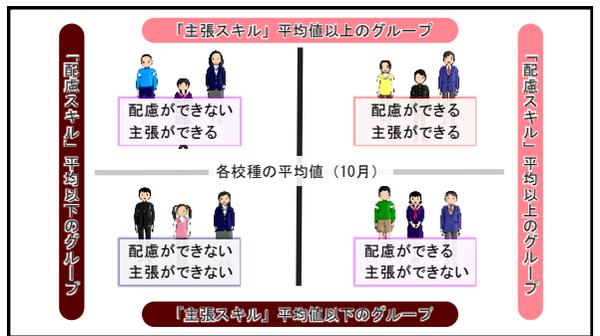
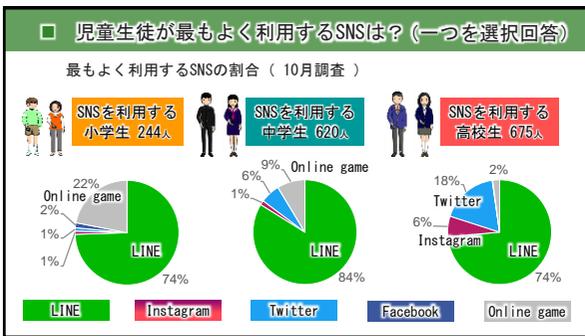
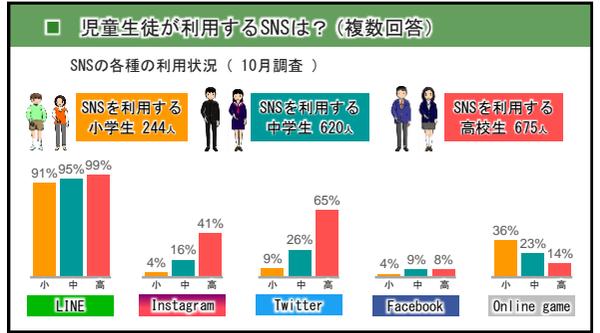
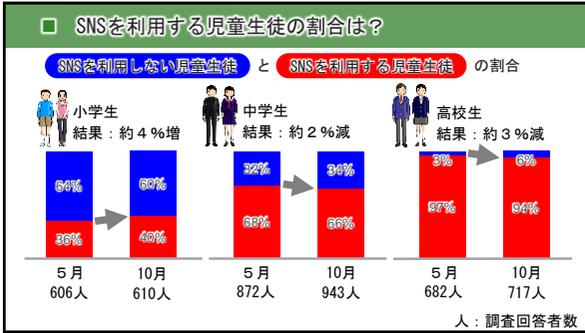
実態調査結果

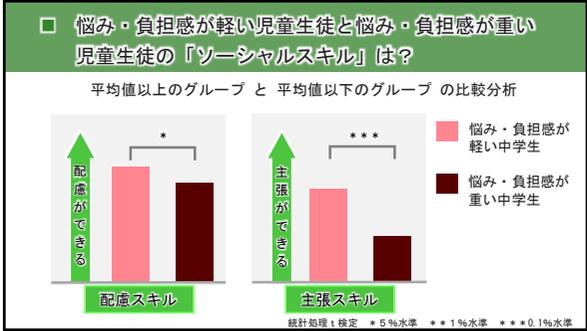
- SNSを利用する児童生徒

分析結果

- 児童生徒の「ソーシャルスキル」
- LINEを利用する児童生徒の「ソーシャルスキル」

Research Report





教育相談課 調査研究 実態調査

児童生徒をアセスメント

- 「SNSチェックシート」
- 「学校楽しいと」
- 「ソーシャルスキル尺度」

- 「配慮スキル」・「主張スキル」の両方のソーシャルスキルが高いと、学校適応感が高く、SNSを適切に利用できている傾向がある。
- LINEを利用する児童生徒は、ソーシャルスキルが高い児童生徒と低い児童生徒とで悩み・負担感は異なった実態がある。

Research Report

相手の状況を理解し気配りをする「配慮スキル」
自らのことを正しく相手に伝える「主張スキル」を高めるには？

相手からの好意的でポジティブな反応が得られるような体験の積み重ねが必要

ソーシャルスキルトレーニング

児童生徒が社会で他の人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付ける訓練のこと

言語的教示	モデリング	行動リハーサル	フィードバック	定着化(般化)
言葉で教える	スキルのモデルを示す	繰り返し練習させる	良い点、改善点を伝える	日常場面での実践を促す

「豊かな人間関係づくり」のアプローチ

- 構成的グループエンカウンターなどの自己開示を促す取組
- ソーシャルスキルを高める取組

豊かな人間関係づくりを築ける力